

# 森づくり通信

No.64

2022年(令和4年) 6月 10日(金)発行／金沢森づくりサポートバンク事務局

〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)

TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



グミの実

一昨年、昨年と新型コロナのまん延に伴ない森づくり活動を控えた会員団体の皆さんも多かったようです。

今年は感染者数を見ると状況は以前より悪化しているように思われますが、重症者や病床使用率が落ち着きまん延防止措置も発令されていない現状から、活動を再開する団体が多くなってきました。

個人的にはワクチン接種率を上げ指定感染症もインフルエンザなどに指定しなおして、早く以前の普通の生活に戻してもらいたいと思います。

## 令和4年度 金沢森づくりイベント情報(一般参加可能分)

日程	イベント内容（予定）	場所	問合せ先
8月4・5日(木・金)	夏休みこどもウツディアート 金沢産の木材で木工作	金沢市民芸術村	金沢市森林再生課 076-220-2217
9月10日(土)	「金沢テクノの森づくり 2022秋」 森林整備活動	金沢テクノパーク	金沢市森林再生課 076-220-2217
9月17日(土)	きんしん東原の森づくり 森林整備とレクレーション	金沢市東原町	きんしん環境財団 076-231-7990
11月初旬ごろ	角間里山まつり 里山イベント	金沢大学 角間の里	角間里山みらい 076-229-1131

### 就任のご挨拶

4月より、金沢市林業振興協議会の事務局長に就任した西川と申します。

昨今のコロナ禍の中で、森づくり活動の実施が厳しい状況となっておりますが、加藤専門員の“4代目相棒”として、精一杯務めてまいりますので、よろしくお願いします。

さて、昨年、金沢市では、森林環境譲与税の活用策として、「森からはじまる金沢のミライ」の実現に向けた提言が取りまとめられ、この中で、市民に森林をいつでも体感できる機会や場所の整備等を提供する「こころの森プロジェクト」の重要性を唱えています。本協議会の活動は、正にこのことに大きく貢献していくものと考えており、近年、特に小学生など次世代を担う子どもたちに対する出前講座に注力しているところです。さらに、将来的には、本協議会が、金沢林業大学校とともに林業振興全般を担っていく組織として発展していくことを目指してまいります。

結びに、会員の皆様には、本市の森づくり活動がますます発展するよう、ひき続き、本協議会の活動にご支援とご協力をいただくようお願い申し上げ、新任のご挨拶といたします。

金沢市林業振興協議会 事務局長 西川 修一

# 森づくり活動 実施報告

元気な森林を守り育てるため、森づくり活動を行っています。

森林は、私たちの暮らしを守り、様々な恵みを与えてくれます。しかし、手入れ不足や放置されることで森林は荒廃が進み、その働きが充分発揮できず森の恵みや生物の多様性も損なわれます。

大切な森林を守り育てるため、一般市民、企業、地元、NPO法人等の協力を得て森づくり活動を行っています。

<問い合わせ先>金沢森づくりサポートバンク事務局 または 金沢市森林再生課 TEL:076-220-2217

## 3月19日（土）原木しいたけ植菌体験

金沢市主催、宮野町三谷さとやま交流広場を会場に原木しいたけ植菌体験イベントを開催しました。

希望者が多く抽選になりましたが、親子18組38名の参加で里山の利用やシイタケの栽培、植菌の仕方などを実演説明し、のとてまりと同じ菌興115号のシイタケの形成駒の植菌を行ってもらいました。

植菌後参加家族に3本ずつのホダ木と、金沢の森のめぐみのギンナンの小箱をお土産に渡し、各家庭で育ててもらう事にしました。

## 3月28日（月）第2三馬っ子クラブ出前講座

第2三馬っ子クラブより森の出前講座の要請を受け、4年生児童10名を対象に桐のオルゴール箱を作りました。

最初に森の話と「もくざいのヒミツ」のパワーポイント紙芝居を見てもらい制作にかかりました。

オルゴール箱は材料も薄く立体にしないといけないので指導者4人で対応しました。

出来上がったオルゴール箱に名前や絵などの飾りつけを行い、千と千尋の神隠しのテーマ曲オルゴールを入れて、音が響く桐の良さを実感してもらいました。



## 4月27日（水）内川小学校出前講座

毎年恒例になりましたが内川小学校3年生児童10名を対象に森の出前講座を行いました。

市森林再生課では小学生を対象にした森の教材「金沢の森林について学ぼう」を作成し、今回初めてタブレットを使い授業を行いました。

その後、屋外に出てシイタケについて学んだあと、コナラの原木にシイタケの菌を植菌し、陽があまり当たらない場所に横積みでコモを被せ、菌が原木内にまん延するように仮伏せを行いました。

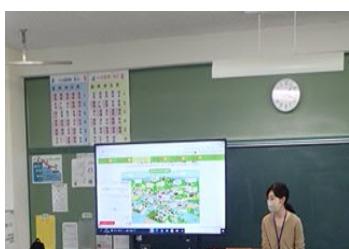
## 5月10日（火）友情の丘森づくり

金沢市校下婦人連絡協議会会員の皆さん19名が、医王の里にある友情の丘の森づくり活動を行いました。

植栽木と実生のマツの木も育ってきて、枝払いが作業プログラムで出来るようになりました。

作業はその他草刈りと側溝の泥上げも行い、段々と森らしい感じになってきたとの皆さんの感想です。

作業後、校下婦人連絡協議会創立60周年に植樹した植栽木の標柱が古くなってきたので、キゴ山に移動して建て直し記念写真を撮りました。



# 森づくり出前講座 実施報告

森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。

例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての説明を行う、または森づくり活動の際に現地に出向いて技術指導をするなど、様々なテーマでの出前講座を実施しています。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは 金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします

## 5月14日（土）きんしんの森づくり

金沢信用金庫職員と家族、一般市民、地元町会の皆さん9名が、3年ぶりに森づくり活動を行いました。

当日はあいにくの活動時間帯だけ雨に降られ、雨合羽を着ての活動となりました。

例年通りの活動予定を立てていましたが、時間短縮と活動内容を植栽地の草刈りと枝払い、家族での参加者はシイタケの植菌体験だけに絞って行いました。

それでも、植栽地もきれいになり、植菌体験の家族は家でシイタケが採れるのを楽しみに持ち帰りました。



## 5月22日（日）スポーツとみどり de ハッピーフェスタ

金沢市ではスポーツ事業団とまちづくり財団が統合した記念として、緑とスポーツが融合したイベント「スポーツとみどり de ハッピーフェスタ」を、金沢南総合運動公園を中心に開催しました。

様々なプログラムの中で木のミニプランター作りを担当しました。ただ作り方を説明するだけでなく、木を使う事は森を元気にして地球温暖化を防ぐ事になるなどの説明を行い、親子で作ってもらいました。園のバラも咲き誇り多くの市民が訪れました。



## 5月18・20日（水・金）小将町中学校出前講座

小将町中学校では学校林を所有しており、毎年創立記念行事として学校林に植栽を行い、あわせて草刈り作業も行っています。

今年は5/18に事前学習として1年生約90名を対象に体育館で森の出前講座を行い、5/20の森づくりに備えました。

学校林作業当日は全校生徒が学年別に分かれて80本のクヌギを植えました。また、学校林の看板を生徒会リーダーで森の入り口に設置しました。



## 5月28日（土）ダンロップの森づくり

ダンロップタイヤ北陸の社員30名が参加し、キゴ山のダンロップの森において森づくり活動を行いました。

見晴らし台のヤブ整備も予定していましたが、草の繁茂が旺盛で草刈り中心に行い、その他、カラマツの植栽木の支柱立てとヒモの結びなおし、営業所の記念植栽木の鳥居支柱の付け替え、ダンロップの森の看板の文字直しなどを行いました。

刈り払い機も森林再生課の職員も入れて5台が稼働し、草刈り作業は予定通り終了しました。



## 金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

### 「金沢森づくりサポートバンク」

<http://www.kanazawa-forest.com/supportbank/>

森づくりイベントの案内や会員の皆さんの活動の様子を掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどもできるサイトとなっています。

また、サイト内には年4回発行の「森づくり通信」も閲覧できるようになっており、団体会員の活動紹介もさせて頂いております。ぜひ1度ご覧ください。



### 刈払機講習会のお知らせ

講習の種類	開催日	開催場所	締切日
刈払機取扱作業安全教育	R4年 7月8日(金)	石川県農林総合研究 センター林業試験場	R4年 6月28日(火)

刈り払い機を安全に正しく使うための講習会が実施されます。

登録会員の方には受講に対しての支援を行っています。希望される方はこの機会にぜひ受講してください。

会場は石川県農林総合研究センター林業試験場(白山市三宮町ホ1番地)で行います。

※ お問い合わせ、お申し込みは期日までに金沢森づくりサポートバンク事務局までお願いします。

※ 必ず、金沢森づくりサポートバンクにお申込みください。(直接申し込みは補助対象になりません)

### 編集雑記

#### 「転換点」

歴史の転換点とは生きている時代では気が付かず、後世から見てあの時が転換点だったといわれているそうで、ここ数年、世界レベルでの出来事があまりにも多く現れているように思います。

新型コロナ騒動はいまだ止まず、気象に関する災害の種類と被害の増加、日本円の価値下落、さらにはロシアのウクライナ侵攻。突然起きたように見えてそれぞれ様々な要因が絡んでいると思いますが、今の時代に軍隊が他国に攻め込むなど考えてもいませんでした。

それに伴い世界各国がなんとか戦争を収めようと会議を開き、ロシアに対しての経済制裁やウクライナ支援などを決定していますが、今のところエネルギー問題も絡んでいて、なかなか実効性がある対策にはなっていないように思います。

国益という名のもとに強引なやり方はロシアだけではなく、各国とも一時代逆戻ったような感覚になります。もしかして歴史の転換点？

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎

